

学校 教育 目標	自主・創造・共生 ○自ら学び、自ら考え、つくりだす力を育てます【知】 ○お互いに認め合いながら、共に伸びていこうとする態度を育てます【徳】 ○たくましい心と健やかな体を育てます【体】 ○社会とのかかわりを大切に、共に生きる態度を育てます【公】 ○さまざまな変化に柔軟に対応できる力を育てます【開】				
	学校概要 創立 47 周年 児童生徒数: 288 人	学校長 田邊 正彦 主な関係校: 横浜市立中沢小学校	副校長 イノウエ 啓子	3 学期制	一般学級: 9 個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	〇〇中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
・自ら学び、自ら考え、行動する力 ・変化に対応し、創造する力 ・他を認め、協働して課題解決をする力	旭中学校 中沢小学校	自ら学び、自ら考え、共に認め合い、協働して課題解決を進める子ども ・主体的・対話的で深い学び、ユニバーサルデザインの授業を中心とした「共通授業コンセプト」の理念を実現するため、小中合同授業研究会を充実させる。 ・9年間で一貫した「児童生徒指導スタンダード」の定着を図るため、小中合同研修会を充実させる。

中期 取組 目標	○小1小中という恵まれた環境を生かして、小中連携を充実させ、併設型小中学校として、学習・生活の両面で9年間一貫した教育活動を行います。 ・主体的・対話的で深い学びとなるように授業を改善するとともに、特別支援の考え方をもとに授業のユニバーサルデザイン化を図ります。 ・人とのかかわりの中で居場所や役割を実感させ、自尊感情や社会性を育成します。 ・地域と連携・協働しながら、社会の一員として求められる資質・能力を育みます。
----------------	--

重点取組分野	具体的取組
知 授業改善 担当 学習指導部	①「共通授業コンセプト」に沿った授業評価を継続して行い、授業評価の結果を参考にしながら、教員相互の授業見学を実施することで授業改善につなげる。②Chromebook等のICT機器を活用した対話的な学びについての研究・実践を行う。
徳 児童生徒指導 担当 生徒指導部	①教職員が「児童生徒指導のスタンダード」を確認する機会を増やし、基本理念を浸透させる。②行事や特別活動、授業などあらゆる場面で、「生徒一人ひとりの居場所・役割」と「仲間から認められる機会」をつくり、自己有用感を高めながら、親和的な集団づくりを進める。
体 健康教育・健康管理 担当 保健安全指導部・体育科	①「体と心の健康カード」と「保健委員会からの情報発信」を柱に、生徒が健康で安全な生活を実感できるように取り組む。②年2回の体力テストを通して、生徒に自身の体力についての課題意識をもたせ、課題解決に向けた体力づくりを行えるように指導する。
公 地域学校協働活動 (地域・防災科) 担当 併設型小中一貫教育推進委員会	①地域との連携・協働を意識しながら、令和3年度に作成した指導計画に沿って、地域・防災科の教育課程を確実に実施する。②学校・地域コーディネーター配置に向けて、地域連携に関する業務について役割分担の整理を行う。
いじめへの対応 担当 いじめ防止対策委員会	①生徒指導における一つ一つの課題について、教職員間で情報共有を行い、対応の手順を確認しながら、見通しをもった指導を行う。②日頃から、生徒の様子や指導・支援の具体的内容について、保護者と情報共有を行い、いじめの未然防止・再発防止に努める。
人材育成・組織運営(働き方) 担当 主幹・主任会	①経験の浅い教職員がより主体的に実践力を高められるようにメンターチーム研修を計画する。②主幹・主任会を中心に、ミドルリーダーが学校経営理念の理解を深めながら、学校運営に意見具申できるように取り組む。③部活動なしの18時退勤デーを月1回設定するなど、「教職員の働き方改革プラン」を具体化した実践を行う。
特別支援教育 担当 生徒指導部	①個に応じた支援の必要な生徒について、短期目標と長期目標を明確にし、教職員で共有しながら継続的な支援を行う。②特別支援教室を利用する生徒が安心して学校に通えるように、仕組みやルールについて、教職員の共通理解を徹底する。
特別活動 担当 特活指導部	①「社会参画」の視点に重点を置き、生徒会本部や評議会の情報発信を工夫することで、生徒が学校全体のために主体的に課題解決を図ろうとする態度を育む。②学校教育目標と生徒会活動のつながりを示した構造図の活用場面を増やし、行事の「ねらい」をより共有化できるようにする。
担当	
担当	